

女性フォーラム 「多様な人財力を最大限に生かす仕組み」



長岡塗装店常務取締役
古志野 純子氏

県主催の女性の活躍推進フォーラムがこのほど、鹿児島市の市町村自治会館で開かれた。働きやすい環境づくりで若手社員の定着と技能伝承を推進し、「子どもと家族を応援する日本」内閣総理大臣賞などを受賞、その取り組みが注目を集めている(株)長岡塗装店(島根県)の古志野純子常務が「多様な人財力を最大限に活かす仕組み」と題して事例発表を行った。要旨は次の通り。

「会社がダメになる...」

かつては「若い職人はベテランを通じて現場で自然に育っていく」と思っていたが、休日も少なく典型的な3K職場では男性若年者が定着しなくなってきた。さらに、若者が次々と県外へ流出する中で、就職希望者の確保も困難に。

その様子が危機感を感じたベテラン技術者から「今後、若い職人が育たなければ会社はダメになる」と言われたのをきっかけに会社

人材難から好循環に

の在り方を考え始め、「カッコいい職人が笑って働ける会社」の実現に向けて動き出した。

まずは、高齢技術者に対しては65歳までの継続雇用の導入を実施した上で、男性若手社員の待遇改善に着手。家庭や育児のための時間が確保できず、退職の可能性のある社員のために有給休暇とは別に30分単位で取得可能な子どもの看護休暇取得の制度を作った。

柔軟な働き方で若手定着

行動から会社が変わる

また、子どものいない社員の不公平感を払しょくするために、家族の介護のために勤務時間を調整できるなどの制度も作り、全社員が柔軟な働き方ができる勤務体系を整備した。

初めは男性社員が定着するための制度づくりに取り組んでいたが、女性社員の中から育児休暇取得者も出てきたので、事務所内に休憩施設なども整備した。社員と協力しながら、男女問わず活用できる仕組みをこころこつ整備した結果、20年前は子供を持つ社員がほとんどいなかったが子どもを持つ社員も増え、「出産ラッシュ」のよるな時期もあった。結果、若い社員が定着、8年間離職者を出さないうち成果につながったと思う。

柔軟な働き方を模索しながら、「その人に能力があるかないか」というよりも、教育していく「人材育成も実践。資格取得のための助成も行い、塗装技能士だけでなく1級土木・建築施工管理技士取得者も増加し優良工事表彰の受賞も増え、受注機会の拡大にもつながった。

受賞などをきっかけにメディアへ取り上げられる機会も増え、顧客からの信頼獲得、社員のモチベーションや責任感の向上にもつながった。

「このよつな取り組みをテレビや新聞などで見た高専の先生が就職希望の女子学生を紹介してくれた。入社後、仕事に真面目に取り組む、現場監督で活躍し、「けんせつ女子」、「ドボジョ」のロールモデルとして取り上げられるようになった。さらに、それを見た学生が興味を持ち入社するという好循環が発生。その子が育っていくのがとても楽しみだ。

私は現場に出ることはないが、事務所でも何かできないかを考えて行動してきた。社員を変えたいためには、経営者自身が変わるのが重要。社員がその姿を見て徐々に会社は変わっていくと思う。これからは多様な人が活躍できる会社作りが必要だ。

地域貢献活動



種子島建設業協組

種子島建設業協同組合(藤田護理事長)は17日、西之表市の栄町市民駐車場で「第30回国民文化祭かごしま2015」開催に向けた清掃ボランティア作業を県・市職員合同で行い、写真、地域の環境美化に貢献した。

今回の活動は、「花を咲かそう西之表」を合言葉に、おもてなしの心で国民文化祭の成功をサポートしようと、県・市職員と一緒に市街地の清掃作業とプランター設置を行った。

同日は、午前8時から作業を開始。組合からは約30人が参加して、高速船ターミナル駐車場やその周辺道路沿いに堆積した土砂の除去を行ったほか、植樹帯や道路沿いの除草、剪定などを手際よく行った。また、県・市職員は空き缶などのごみ拾いと除草作業に汗を流した。

なお、プランター設置は28日午前8時30分から行われる。

県建築協会始良・伊佐支部

県建築協会始良・伊佐支部(津田和亨支部長代行)は19日、霧島市牧園町の幹線道路および街路で

清掃ボランティア活動を行い、写真、国民文化祭を前に本県が誇る観光地の景観美化に貢献した。

出発式で津田和支部長代行は「国民文化祭の開催で多くの旅行者が予想される。ごみ一つ無いうちに作業に取り組もう」と挨拶した。作業には64人が参加。みやまコンセールや丸尾の滝、神話の里公園などの周辺で空き缶やたばこの吸い殻などのごみ拾いに汗を流した。



- 参加企業は次の通り。
- 川野建設 創建 丸岡建設
 - キョクヨウ 親和建設 第一建設
 - 福永建設 末重建設 秋篠建設
 - 川原建設 佐々木組 末広 曾山建設
 - 津田和建設 鎌田建設 小永吉建設
 - 新町組 徳田建設 坊地建設
 - 松下建設 南建設 森建設
 - 安田建設工業 有村建設 今村建設
 - 福山土木 西工務店 黒江工務店
 - 堀之内建設 ヤマグチ田上建設 富士建設 松永工業

大笠建盛会

大笠建盛会(中本拓治会長)は17日、南さつま市の大浦干拓一帯

の排水路で清掃ボランティアを実施した=写真=。



日ごろお世話になっている地域への恩返しとして、毎年実施している活動。会員企業から計11人が参加した。

作業には、バックホウや2tダンプなどを投入。大浦干拓第1、第2土地改良区内の排水路に堆積した土砂を、半日掛けてきれいに除去した。

土地改良区関係者は「毎年活動していただき、とてもありがたい」と感謝していた。

- 参加企業は次の通り。
- 三和建設 ムラタ建設 有木機工 塩屋建設
 - 中尾スポーツ工業 大浦建設 大平工務店 森組 森開発 福戸山建設 笠沙緑建

増田勇建設

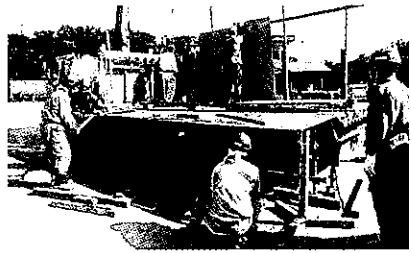
(株)増田勇建設(増田勇二社長)は17日、鹿児島市の清和小学校で開かれた「第24回星空コンサート」の特設ステージ設営に協力。日ごろの技術を駆使してコンサート開催に一役買った=写真=。

同日は、増田社長をはじめ社員

ら約10人が参加。正午過ぎからトラックやユニック車に機材や足場となる鉄骨などを積み込んで集合し、設営を始めた。

特設ステージはユニック車の荷台を併用する形で組み立てられ、足場となる鉄骨やステージとなる鉄板などをユニックでつり上げて設置し、手際よく溶接。みるみるうちにステージが出来上がり、教職員やPTA、実行委員会の会員らが幕を張ったり看板を設置し、立派なステージに仕上げた。

田中耕一郎校長は「機動力と手際のよい作業にいつも感心する。ありがたい限り」と感謝。増田社長は「これからも地元の方々と一緒に汗を流し、地域の活性化を図っていきたい」と語った。



日没後に開かれたコンサートでは、同小や東谷山中学校の吹奏楽演奏、鹿児島大学学友会の邦楽部演奏、桜島「火の島太鼓」などの音色が地域住民らを魅了した。

情報はこちらへ

本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し報道部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。E-mail:hensyu@kc-news.co.jp